



転倒・転落アセスメントシート

項目

- ・認知症がある
- ・ナースコールが認識できなくて使えない
- ・車イスを使用している
- ・転倒・転落したことがある

危険度として

1~9点 転倒・転落をする可能性が有る

10~19点 転倒・転落を起こしやすい

20点以上 転倒・転落を良く起こすとなっている

センサー使用時の詳細な生活記録づけの3名

A様						
性別	女					
年齢	80代					
既往歴	認知症、右大腿骨転子部骨折、高血圧、高脂血症					
ADL	移動：車イス 排泄：一部介助 麻痺：なし					
20日間のセンサー反応時間帯と回数						
20時	21時	22時	23時	0時	6時	
0回	5回	1回	2回	7回	1回	

センサーは解除した。

B様

性別	女
年齢	90代
既往歴	認知症、脳梗塞
ADL	移動：車イス 排泄：一部介助 麻痺：右半身麻痺

20日間のセンサー反応時間帯と回数

21時	22時	23時	0時	1時	2時	3時	4時	5時
9回	6回	11回	4回	4回	1回	8回	5回	4回

センサーは継続した。

6

◆C様

◆性別	◆女
◆年齢	◆90代
◆既往歴	◆認知症、心不全、左大腿部骨折、両膝人工関節
◆ADL	◆移動：車イス 排泄：自立 麻痺：なし

20日間のセンサー反応時間帯と回数

21時	22時	23時	0時	1時	2時	3時	4時	5時
11回	11回	6回	10回	9回	4回	8回	8回	2回

センサーは継続した。

7

課題の成果と評価②

取り組み後の
センサーに対する振り返り（会議）

- センサーを外す視点を持ちながら、入居者様の生活を見ていく必要がある。

8

今後の課題

- 安易にセンサーを導入しないことをチームとして確認した。



9